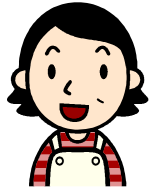


# 配布される資料とその使い方

栃木県教育委員会学校教育課 学力向上推進室

県教育委員会では、とちぎっ子学習状況調査に関係する様々な資料を配布しています。ぜひ、お子様と一緒にどんな資料が配布されているのか、それらの資料をどのように使うのかを確認していただき、お子様の家庭学習の充実に役立ててください。

どんなものが配られるのですか。



## 家庭に配布されるもの

個人票

教科

得意なところや、苦手なところが分かります。

答案用紙

どのように答えたかが分かります。

正答(例)

見直しをする際の参考になります。

質問紙

学習や生活の様子などが分かります。

調査問題

前の学年までに学習した内容から出題しています。

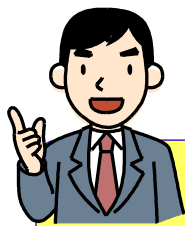
復習用資料

調査問題に関連した問題があります。

## とちぎっ子学習状況調査とは

- ・平成26年度から始まった、栃木県独自の学力や学習状況に関する調査です。
- ・県内全ての公立小学校4年生・5年生、中学校2年生が対象です。
- ・児童生徒一人一人の強み(得意なところ)と課題(苦手なところ)を把握し、学力の向上を目指します。 ※ 順位は出ません。





フォローアップシートはどのように使えばよいのですか。



学習のアドバイスに示されたページから解いてみましょう。  
また、ほかの問題にも挑戦し、さらに力を付けましょう。

### 個人票

### 教科

### 調査問題

平成 年度 どのよう学習状況調査 あなたの結果 ○○○○学校 2年1組11番 活用

教科別正答率(%)

国語	75.0	84.2	100.0	99.7	38.0	58.7
算数	65.8	52.1	100.0	95.0	49.0	52.9
数学	78.0	85.2	100.0	71.0	49.0	49.4
理科	64.9	57.3	98.0	62.0	38.0	47.0
社会	69.0	59.3	100.0	60.0	39.0	65.0

中学校之知識

算数	75.0	84.2
数学	78.0	85.2

中学校之学力

算数	75.0	84.2
数学	78.0	85.2

中学校之年度別

算数	75.0	84.2
数学	78.0	85.2

★数学はよくできました。基本的なことがらは身につけています。下のアドバイスを読んで、復習しておきましょう。

- ◆文字式の問題についてもう一度復習しておきましょう。文字式の計算では、とちゅうの式もていねいに書いて、計算まちがいを減らすことが大切です。⇒26
- ◆平面図形の問題はよくできました。垂線や垂直二等分線、角の二等分線の作図のしかたはすべておぼえていますか？あいまいなどはすぐに復習しましょう。⇒34
- ◆資料の活用について、もう一度教科書で復習しておきましょう。特に、度数分布表やヒストグラムの読み取りは正しくできるようにしておきましょう⇒32

15 調査問題

1) 2のヒストグラムから、大倉さんと豊田さんは、同じ人数で練習したことがわかります。

2) 今年の冬まで、大倉さんと豊田さんのうち、どちらの練習時間がより短縮されたかを、大倉さんと、大倉さんと豊田さんとのヒストグラムを比較して、そのなかから結論をもとに、2人の練習時間の差を求めたいと希望しています。あなたならどのように結論を導くでしょうか。下のA、イからどちらかの方法を説明してください。また、その方法を説明する、大倉さんと豊田さんの練習時間を表したヒストグラムを参考にしてください。

A 大倉さん  
イ 豊田さん

※多くてどうしようもない！  
大倉さんと豊田さんどっちも！

もう一度、調査問題  
に取り組むことも  
大切です。

指定されたページを学習することで、得意なところをさらに伸ばしたり、苦手なところを改善したりすることができます。

夏休みなどの長期休業中の復習や、毎日の家庭学習などに活用しましょう。

よーし、このページの問題を解いてみよう！



### フォローアップシート

中学数学2年 資料の散らばり

組番 月 日 正答数

名前 /3

●資料の分析のようすを度数分布表やヒストグラムから調べることができる。

① 度数分布表(資料をいくつかの階級に分け、階級ごとその度数を示して、分布のようすをわかりやすくする表)

② ヒストグラム(縦軸(グラフ)→階級の幅を縦軸、度数を縦軸とする長方形で表したグラフ)

③ 相対度数(ある階級の度数に対する割合、相対度数 = (その階級の度数) / (度数の合計))

④ 右の度数分布表は、ある中学校のクラスの生徒の通学時間についてまとめたものです。

(1) 階級の幅を求めなさい。

(2) ③にあてはまる数を求めなさい。

(3) 通学時間が30分以上35分未満の階級の相対度数を求めなさい。

(1) 各階級の幅は [ ] 分ずつの区間である。

(2) 度数の合計は [ ] である。

(3) 通学時間が [ ] 分〜 [ ] 分である。

右のヒストグラムは、ある中学校の生徒の通学時間についてまとめたものです。

(1) 階級の幅を求めなさい。

(2) 度数が最も多い階級はどの階級ですか。

(3) 1日の通学時間が40分以上50分未満の階級の相対度数を求めなさい。

32

自分にあつた問題  
に取り組むことが  
できます。

調査結果をお子様と一緒に確認し、自分から学習に取り組むことができるよう認め励ますことが大切です。家庭学習を充実させるため、学習の進め方や家庭での過ごし方などについて話し合ってみましょう。